

## パキスタン国国境地域農業普及員能力向上プロジェクト

(調査期間：2015年1月～2017年6月、担当業務：総括及び研修)

### 調査背景

パキスタンの Khyber Pakhtunkhwa 州 (以下 KP 州) は、パキスタン北西部の山岳地帯に位置する州である。人口の 75%以上が何らかの形で農業に従事しているものの、農業が所得の創出に効果的に貢献出来ていない。このため、パキスタン政府は農業普及員を通じて農民に農業技術に係る適切な知識を普及させることで生産性を高めることを目的とし、KP 州農業普及行政官及び農業普及員を研修するとともに、現場での普及活動の実施促進を目指して本プロジェクトを我が国に要請した。

### 活動概要

本プロジェクトの特徴は、研修に実地活動を組み込むことにより、普及員が研修で得た知識・技術を現場でどのように生かしていくかを学ぶことが出来たことである。研修と普及活動を連携させた研修フローの中で、普及員には研修成果を発揮する「場」や「機会」が与えられ、そうした活動を通して普及員は自信を深め、農家との関係性の改善に努めることが出来た。また、普及員が効果的な普及活動を実施するためのツールとしての様々な普及教材 (ポスター、パンフレット、テキスト、ビデオ) についても、研修活動の一部として普及員による作成プロセスを大切にした。

### 担当事項

- 中央の研究機関と州の普及局を巻き込んで研修カリキュラム及びフローを策定した。
- 研修に必要な機材を研究機関に設置し、研修普及教材を作成配布した。
- 農業普及行政官および農業普及員に対する研修を研究機関において実施した。
- 農業普及員が現場で普及活動を実施し、農業普及行政官が活動のモニタリングを行った。
- フォローアップワークショップを行い、普及員の活動にかかるフィードバックを得た。
- ステークホルダー会合やナショナルセミナーを開催し、活動の計画や成果の関係者への周知に努めた。

